

事業所名	グループホーム 青い鳥
日付	平成19年2月8日
評価機関名	特定非営利活動法人 高齢者・障害者生活支援センター
評価調査員	① 介護支援専門員・歯科医 ② 介護支援専門員・栄養士
自主評価結果を見る(事業所の自主評価結果にリンクします) 評価項目内容を見る(岡山県の定めた評価項目へリンクします) 事業者のコメントを見る (評価結果に対する事業者の改善状況についてコメントがあります) ※	

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)

- 古いスタッフと管理者との連携がしっかりとれていて、前向きに業務内容の改善に取り組まれている思いもしっかりされていました。
- 開設後、年度を増すごとに内容が徐々に改善されていて落ち着いた家庭的な雰囲気が漂っていました。日々の内容についても常に前向きに管理者と職員が協力しあって取り組まれています。
- 経済的負担を考慮した、利用しやすい料金を設定されています。

特に改善の余地があると思われる点

- 管理者の理念を職員へ伝える具体的な方法、書式について工夫されたらよりよいホーム作りがなされる。
- 中堅職員から初心者職員への指導について周知徹底されたらより一層期待できる。

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にした整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援		○
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		○
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人の力と経験の尊重やプライバシー保護の為に取り組んでいるものは何か。		
	入居者一人一人の個別性を尊重し、その方が昔生活されていた状況や体験を聞き家庭の延長で自分らしくゆったりと日々過して頂けるよう管理者を中心に取り組んでいる。		

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		○
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か。		
	アットホームな雰囲気の中、家庭の延長でスキンシップや会話を大切にしながら利用者それぞれの個性を重視したその人らしく、ありのままの生活が送れるようなケアが実現できるよう日々取り組んでいる。またクリスマス会でバザーを行ったり七夕祭りを企画して地域との交流も深まるよう取り組んでいる。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり	○	
3	入居者一人ひとりにあわせた居室の環境づくり	○	
4	建物の外周や空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か。		
	家庭に近い状態で生活して頂きたいとの思いで、入居者は日中、リビングで職員と一緒に会話を楽しんだりカラオケをするなど落ち着いて過せるような暖かみのある場作りに取り組んでいる。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のベースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人のできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
33	家族への日常の様子に関する情報提供		○
34	地域との連携と交流促進	○	
35	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
	毎月1回は職員の全体ミーティング、外部から講師を招き勉強会を開催している。またケースについては何か変化があればその都度、職員が話しあって対策を考えている。		